

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月3日 日本瓦斯株式会社



決算のポイント① 26/3期3Q実績(計画比)と見通し

営業利益は計画を上回った。4Qを慎重に見積り、通期営業利益は200億に据え置く

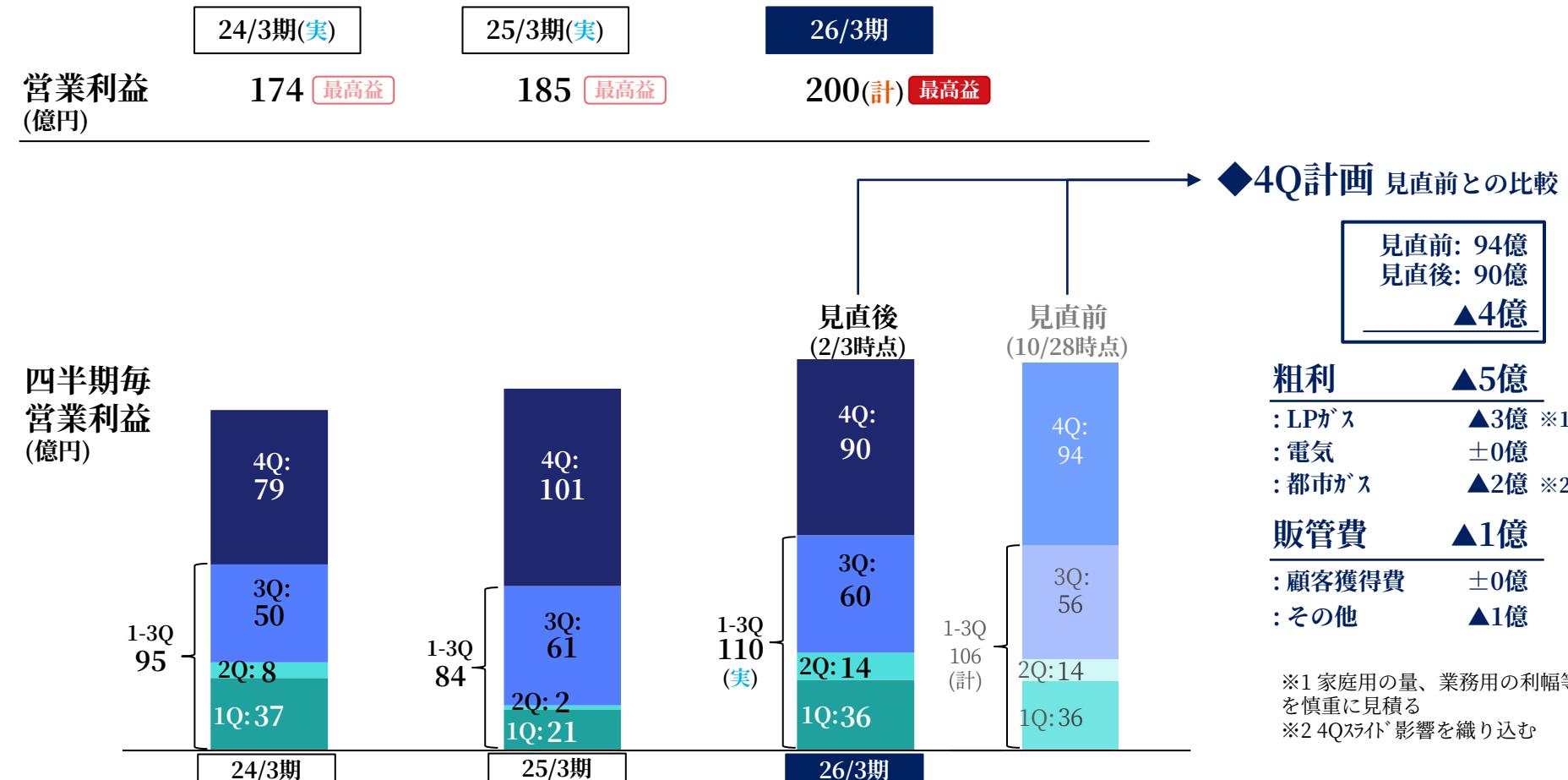
- 粗利は電気が伸びて計画上回った。LPと都市ガスは計画通り。販管費も計画通りにコントロール。
- 通期営業利益200億に変更なし。4Qは気温影響やスライド影響に備えて粗利を慎重に見積る。

(億円)	26/3期(3Q/4-12月) 計画(10/28時点)実績		26/3期 通期計画 見直前 見直後		ポイント
	計画	実績	見直前	見直後	
粗利益	514	519	750	750	
LPガス	339	340	495	493	<ul style="list-style-type: none"> 3Q: 低気温の影響で家庭用が伸長 4Q: 家庭用の販売量、業務用の利幅等を慎重に見積る
電気	40	44	58	62	<ul style="list-style-type: none"> 3Q: 燃料価格の動きが LPガス に作用して収支良化
都市ガス	135	135	197	195	
<u>内、スライドタイムラグ</u>	<u>+2.5</u>	<u>+2.3</u>	<u>+2.5</u>	<u>+0.3</u>	<p><スライドラグ影響></p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに4Q想定▲2.0億を計画に織り込む
販管費	408	409	550	550	
営業利益	106	110	200	200	<ul style="list-style-type: none"> 3Q: 最高益を更新
純利益	74	76	140	140	
株主還元	-	-	203	203	<ul style="list-style-type: none"> 25/10月に上限90億円の自社株買入れ枠を設定(詳細P.17)
EPS	68.0円	70.1円	129.6円	129.6円	

決算のポイント② 26/3期営業利益見通し

営業利益はガス需要期の下期に偏重、4Q見通しに大きな変更なし

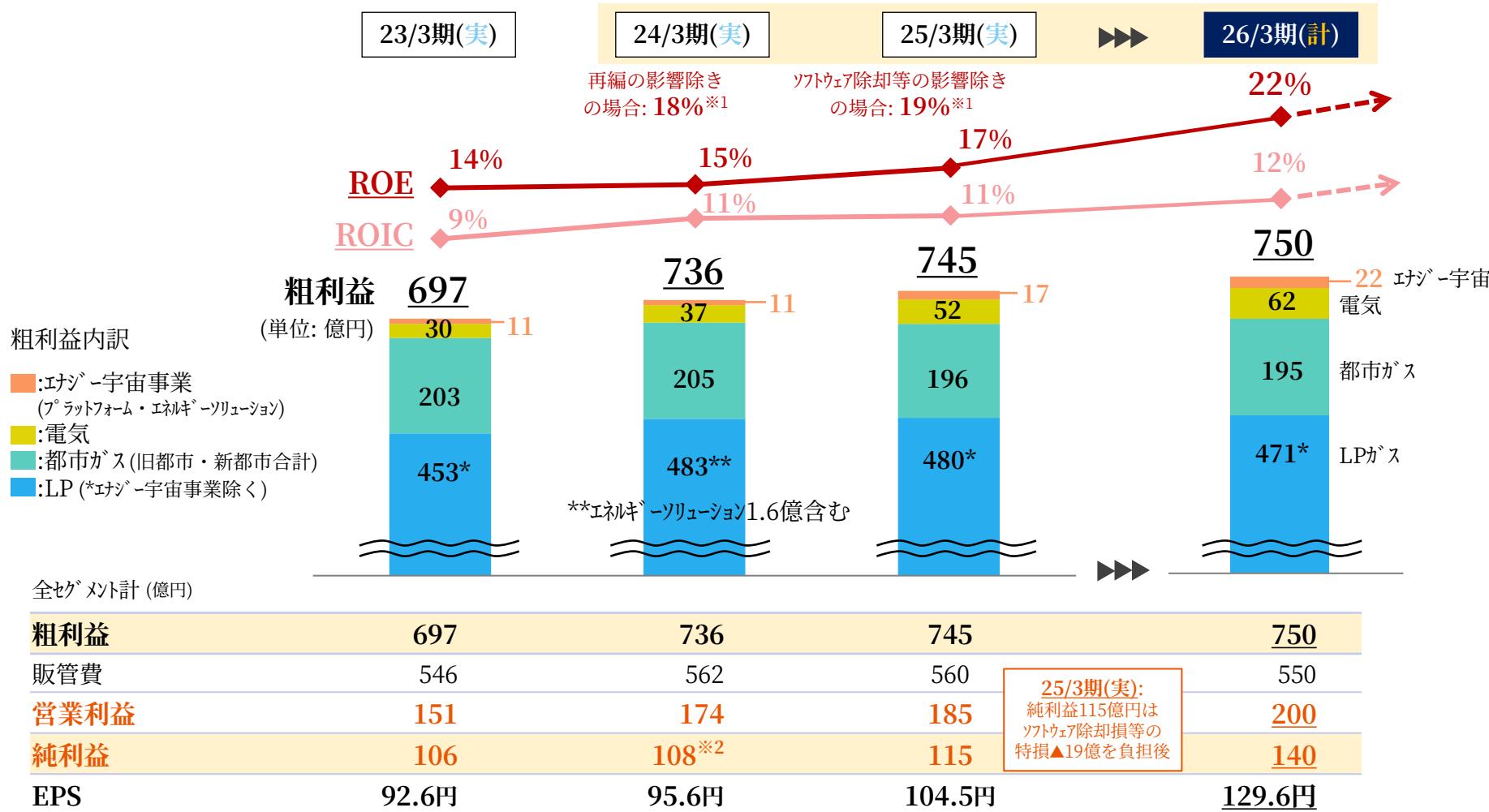
- 1-3Qの営業利益は堅調に進捗、過去最高益を更新。
- 4Q営業利益に大きな変更なし。気温影響やスライド影響に備えて、粗利を慎重に見積る。



決算のポイント③ 3ヶ年計画(24/3~26/3期) 利益の詳細

26/3期は営業利益200億、EPS129.6円を計画。資本最適化しながらROEを向上

- 26/3期は3ヶ年計画の最終年、営業利益、ROE目標を達成する。次期中計の重要なポイントは、顧客基盤の拡大・拡充を通じた着実な利益成長。



決算のポイント④ 3ヶ年計画 利益計画の前提

26/3期は電気、エナジー・宇宙の粗利拡大で成長、LP業務用の減を吸収

(億円)	23/3期 (実)	24/3期 (実)	25/3期 (実)	26/3期 (計)	2Q時計画(10/28時点)からの変更点
粗利(全セグメント合計)	697	736	745	750	
LPガス(機器工事含みエナジー・宇宙除く)	453	483	480	471	• 473億→471億
期末顧客数(千件) (括弧内前期比)	973	997(+24)	1,030(+33)	1,070(+40)	
販売量(千㌧) 家庭用/業務用	186/121	179/114	178/109	<u>180/105</u>	• 3Q実績と4Q気温見通しを踏まえて、家庭用を179千→180千㌧に見直す
家庭用利幅(円/kg)	212	233	232	<u>230</u>	• 大きな変更なし。3Q売価実績や為替影響等を踏まえ、232→230円/kgに見直す
都市ガス(機器工事含む)	203	205	196	195	• 197億→195億(4Qストライド影響▲2億を新たに織り込む)
販売量(千㌧) 家庭用・業務用計	378	365	344	<u>338</u>	• 3Q実績を踏まえ339→338千㌧に見直す(家庭用+1千㌧、業務用▲2千㌧)
電気	30	37	52	62	• 58億→62億
期末顧客数(千件) (括弧内前期比)	320	345(+25)	381(+35)	431(+50)	
販売量(GWh)	1,297	1,427	1,587	<u>1,719</u>	• 足元の顧客数を踏まえ、1,723→1,719GWhに見直す
利幅(円/kWh)	2.3	2.6	3.3	<u>3.6</u>	• 3Q実績を踏まえ、3.4→3.6円/kWhに見直す
エナジー・宇宙事業 (プラットフォーム)	11	11	14	16	
エナジー・宇宙事業 (エネルギー・ソリューション)	-	[1.6*]	3	6	

*LPガス粗利に含む

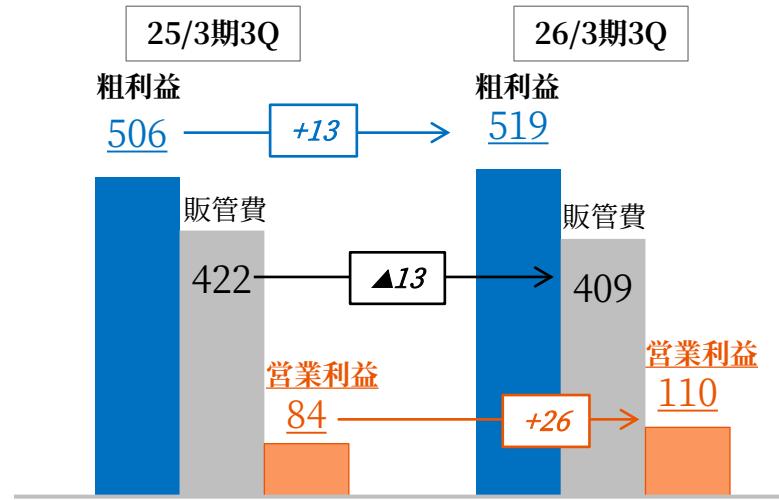
決算の実績① サマリー(25/4-12月) (前期比)

サマリー(25/4-12月) (前期比)

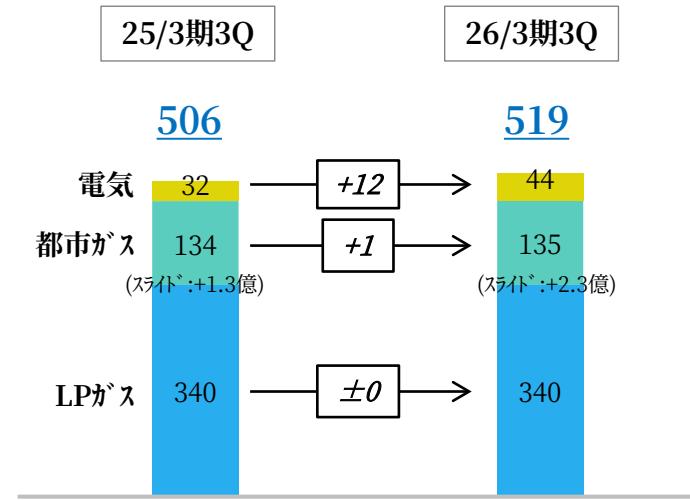
営業利益増(前期比+26億)。粗利は電気が伸びて増、販管費はコスト効率が向上

■粗利は電気が利幅拡大と顧客増で伸長。LP家庭用は前期比増、業務用が利幅縮小し減。都市ガスは家庭用・業務用共に前期並。機器・プラットフォーム粗利が伸長。販管費は獲得費の運用を効率化し減。

粗利益/販管費/営業利益 (億円*)



粗利益内訳 (億円*)



*実数の単位未満は端数処理

全セグメント合計 (億円)	25/3期 (3Q/4-12月)	26/3期 (3Q/4-12月)	増減	ポイント
粗利益	506	519	+13	
販管費	422	409	▲13	・投資効率向上に向けて顧客獲得費の運用を効率化(前期比▲17億)
営業利益	84	110	+26	
販売量(千トン)				
LPガス	192	192	0	・家庭用は顧客数増により伸長。業務用は低採算の取引を見直し減
都市ガス	233	227	▲6	・業務用が減、入札案件の減少や設備の省エネ化が影響
電気(GWh)	1,103	1,212	+109	・顧客数増で伸長。単位消費量は微増

決算の実績② 販管費明細

1-3Q実績は概ね計画通り。通期計画は550億に据え置く

■ 1-3Q実績は概ね計画通り。顧客獲得費は計画以下にコントロール。手数料や修繕費がやや計画を上回った一方、IT費用等は計画以下に抑えた。通期計画550億に変更なし。

*実数の単位未満は端数処理。進捗(%)は億円表示処理後で算出

販管費明細 (億円)	26/3期		進捗 *対通期計	ポイント	25/3期	
	(通期計)	(3Q実)			(通期実)	(3Q実)
1. 人件費	148	111	75%	・昇給率は4.5%。従業員あたりを増やす方針	141	107
2. 減価償却費 ^(*i)	82	61	74%		83	62
3. 顧客獲得費用 ^(*ii)	50	35	70%	・通期は投資回収期間の短縮に向けてコスト運用を効率化し前期比▲14億を計画	64	52
4. IT費用	44	33	75%	・計画比▲1億。2Qからシステム保守などの内製化を進めて業務効率化し経費を削減	49	37
5. 手数料等 ^(*iii)	48	38	79%	・計画比+1億。外部委託コストが微増	48	36
6. ガス関連機材等	36	27	75%		36	28
7. ガスボンベ運搬費	34	23	68%	・計画比+1億。4Qのガス需要期に費用が偏る	33	22
8. 修繕費用 ^(*iv)	20	16	80%	・計画比+1億。車両や供給設備の修繕を実施	19	14
9. 租税公課・事業税	20	16	80%		20	15
10. 通信費 ^(*v)	11	8	73%		11	9
11. 広告宣伝費	11	7	64%	・一部コストが4Qに期ずれし計画比▲1億。通期見通しに変更なし	9	7
12. 旅費交通費	7	5	71%		7	5
13. コールセンター	5	4	80%		6	4
14. その他	34	25	74%		34	24
合計	550	409	74%		560	422

(*i) IT関連の償却は「4. IT費用」、のれんの償却は「14. その他」に計上。 (*ii) 顧客獲得費用はLPガス、都市ガス、電気に係る営業費用とサービス品の合計

(*iii) 24/3期から「保安・検針費等」を「5. 手数料等」に統合 (*iv) ボンベや機材等の修繕費、ボンベ検査費用 (*v) 顧客とのコミュニケーション費用、スマート通信費用

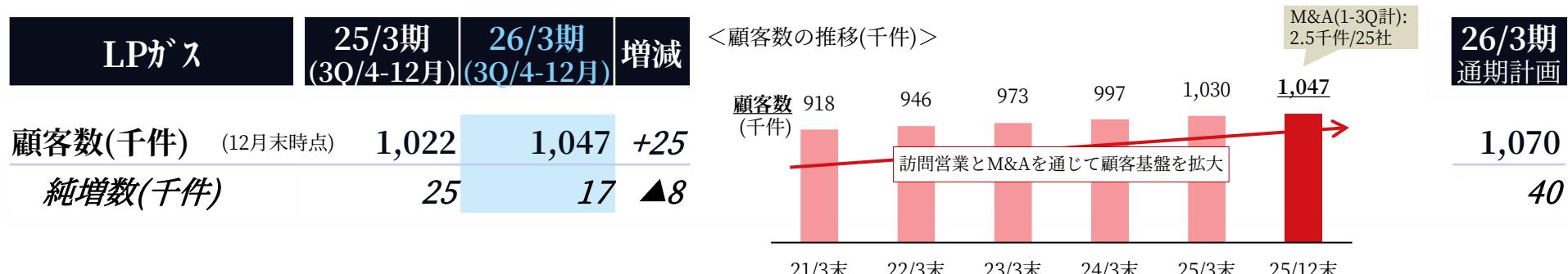
決算の実績③ LPガス事業(前期比)

粗利前期比横ばい。家庭用が販売量伸びて増、業務用は利幅縮小し減。機器粗利が伸長

- 家庭用ガス粗利は前期比増、顧客増で販売量伸長。業務用は原料価格の動きが影響し利幅縮小。機器粗利は増、省エネ型ガス機器の販売が伸長。戸建中心に顧客数増やしながら顧客獲得費を低減。

*実数の単位未満は端数処理。 *増減は億円表示処理後で算出

LPガス(億円)	25/3期 (3Q/4-12月)	26/3期 (3Q/4-12月)	増減	純利益	26/3期 通期計画
粗利益	340	340	0	493	
内、ガス	312	307	▲5	447	
kgあたり(家庭用+業務用)	163円	160円	▲3円	157円	(家庭用+業務用)
内、プラットフォーム(PF)	11	12	+1	16	
内、機器その他(内、エレキソリューション)	17(2)	21(3)	+4(+1)	30(6)	・ハイリット給湯器や省エネ型ガス給湯器の販売が伸長
ガス販売量(千トン)	192	192	0	285	
家庭用	113	116	+3	180	・家庭用: 顧客増で前期比増。単位消費量は前期並
業務用	79	76	▲3	105	・業務用: 低採算の取引減らし前期比減、粗利への影響は限定的

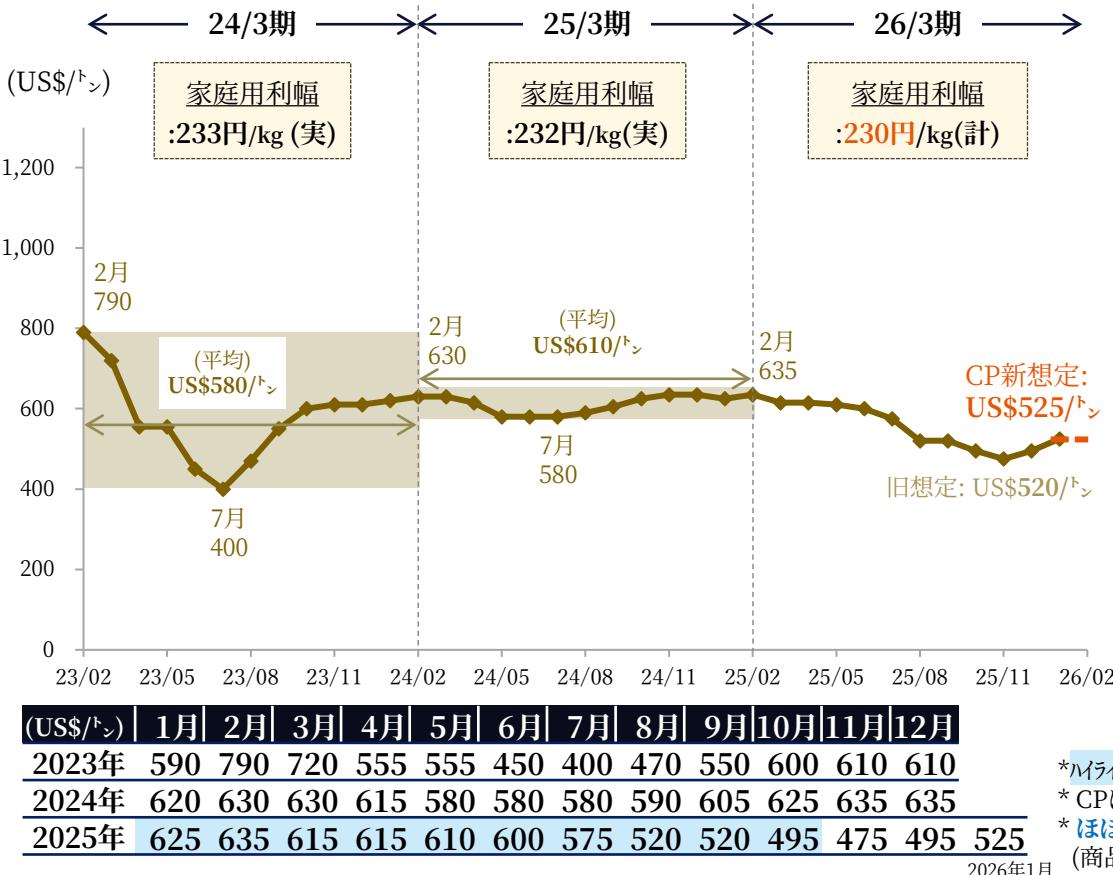


LPガス原料価格(CP)の推移

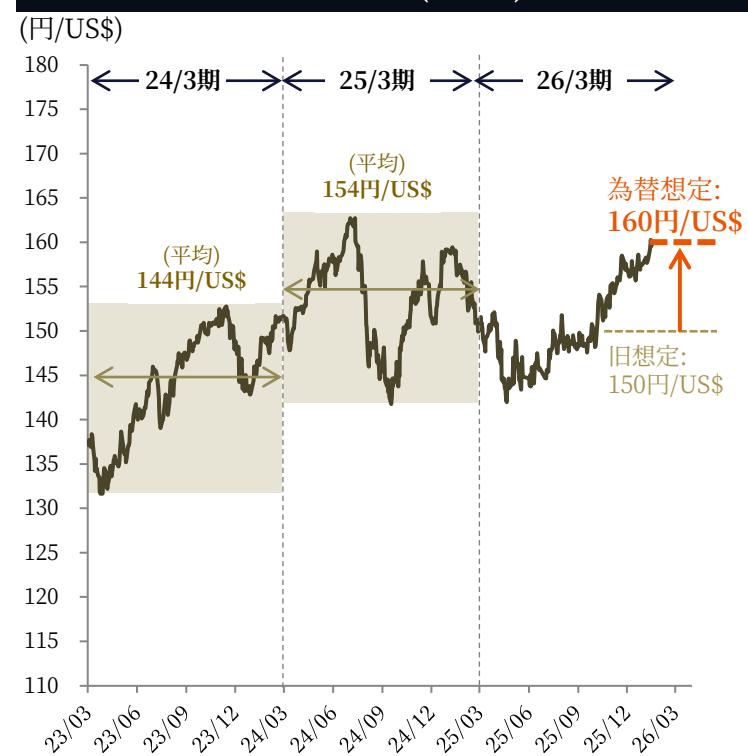
3Q原料価格は概ね想定通り。通期家庭用利幅に大きな変更なし

- 3Q原料価格は概ね想定通り、25/2-11月にかけて緩やかに下落。
- 4Q原価は26/2月までの原料価格を反映、通期家庭用利幅は230円/kgを見込む。

LPガス原料価格(CP)の推移



為替相場(TTS)



決算の実績④ 電気事業(前期比)

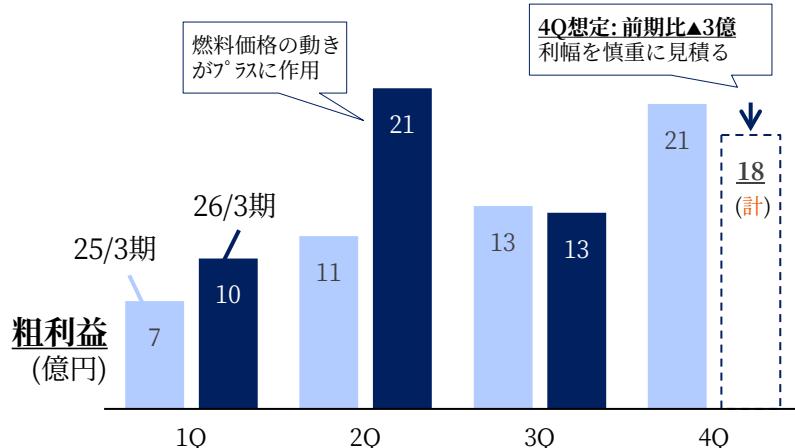
粗利増益、計画も上回った。利幅良化、販売量も伸びた。通期計画58→62億に見直す

■粗利益は前期比+12億。利幅は燃料価格の動きがプラスに作用して良化。顧客数増により販売量伸長。コミュニティ向けの新プランを提供し営業強化。

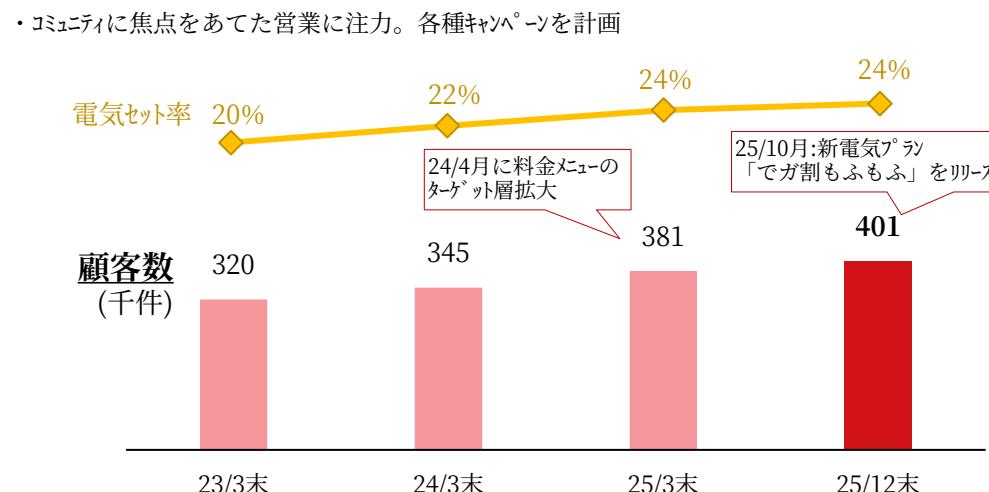
*実数の単位未満は端数処理。 *増減は億円・千件表示処理後で算出

電気	25/3期 (3Q/4-12月)	26/3期 (3Q/4-12月)	増減	ポイント	26/3期 通期計画
粗利益(億円)	32	44	+12	・粗利: 前期比+12億、計画比+4億 ・利幅: 3Q実績を踏まえ、通期で3.4円→3.6円/kwhに見直す	62
kWhあたり	2.9円	3.7円	+0.8円		3.6円
顧客数(千件) (12月末時点)	374	401	+27	・電気セット率: 24%(前期比+1%) ・25/10月にネットコミュニティに向けた新電気プラン「でガ割もふもふ」をリリース	431
純増数(千件)	29	20	▲9		50
電気販売量(GWh)	1,103	1,212	+109	・顧客数の増加により伸長。単位消費量は前期比微増	1,719

四半期毎の粗利(前期比)



顧客数の推移



決算の実績⑤ 都市ガス事業(前期比)

粗利増益。ガス粗利は前期並、機器粗利が増。顧客数は順調に増加

■粗利は、家庭用・業務用ともに前期並。機器粗利が増、省エネ型ガス機器の販売が伸びた。顧客数は、解約数が減少し今期からプラスに転じた。スポーツなどのコミュニティ向け営業が好調。

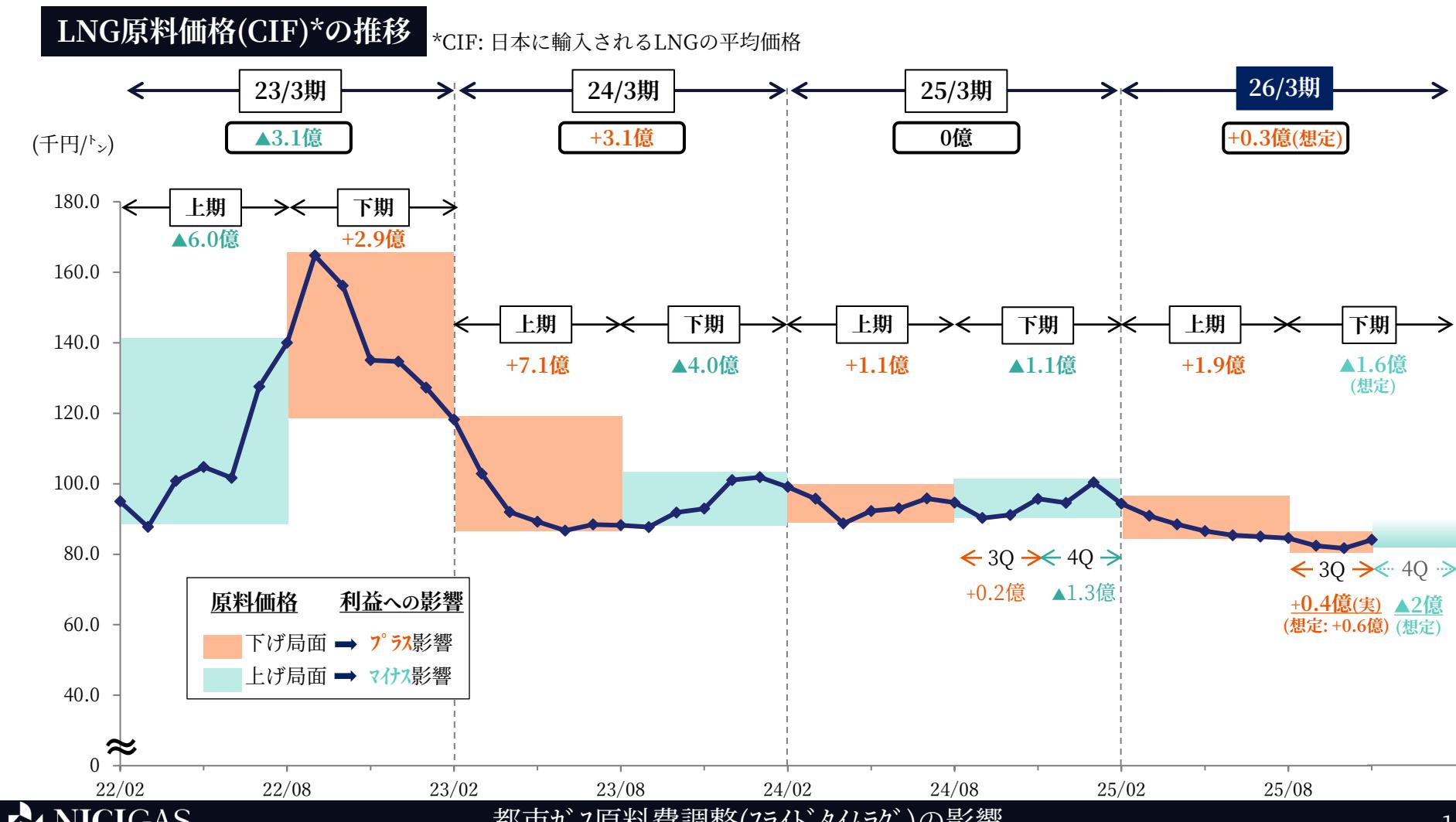
*実数の単位未満は端数処理 *増減は億円表示処理後で算出

都市ガス(億円)	25/3期 (3Q/4-12月)	26/3期 (3Q/4-12月)	増減	コメント	26/3期 通期計画
粗利益	134	135	+1		195
内、ガス	119	119	0		172
内、 ^{内、} スライドタイムラグ	+1.3	+2.3	+1	・3Q(4-12月)スライド影響は想定比▲0.2億 ・4Q(1-3月)想定▲2億を通期計画に新たに織り込む	+0.3
内、託送収益等	7	7	0		11
内、機器・工事等	8	9	+1		12
ガス販売量(千トン)	233	227	▲6		338
家庭用	91	93	+2	・家庭用:顧客数増により前期比増	151
業務用	142	134	▲8	・業務用:入札案件の減少や設備の省エネ化が影響し前期比減	187
12月末時点の 小売件数/純増数(千件)	588/▲13	603/+13	+15/+26	<顧客数の推移(千件)>	610/+20
内、旧都市	388/+2	391/+2	+3/0	顧客数 (千件) 667 601 590 603	394/+5
内、新都市	200/▲15	212/+11	+12/+26	解約数減少 コミュニティ向け営業 が好調	216/+15

都市ガス原料費調整(スライド・タイムラグ)の影響

3Q(4-12月)スライド影響は+2.3億。新たに4Q(1-3月)想定▲2億を通期計画に織り込む

■ 4Q(1-3月)の原料価格は小幅な動きを想定。通期スライド影響は+0.3億を見込む。



決算の実績⑥ エナジー宇宙事業

概ね計画通り。保安と工事PFラットフォームが着実に拡大。エネツリはハイブリッド給湯器販売を加速

- PFラットフォーム(PF): 保安PFは都市ガスの受託エリア拡大して伸長。工事PFはM&Aにより外部受託を拡大。
- エネルギーソリューション: ハイブリッド給湯器の1-3Q販売台数は前期比+1.5千台。機器販売全体の採算性も向上。

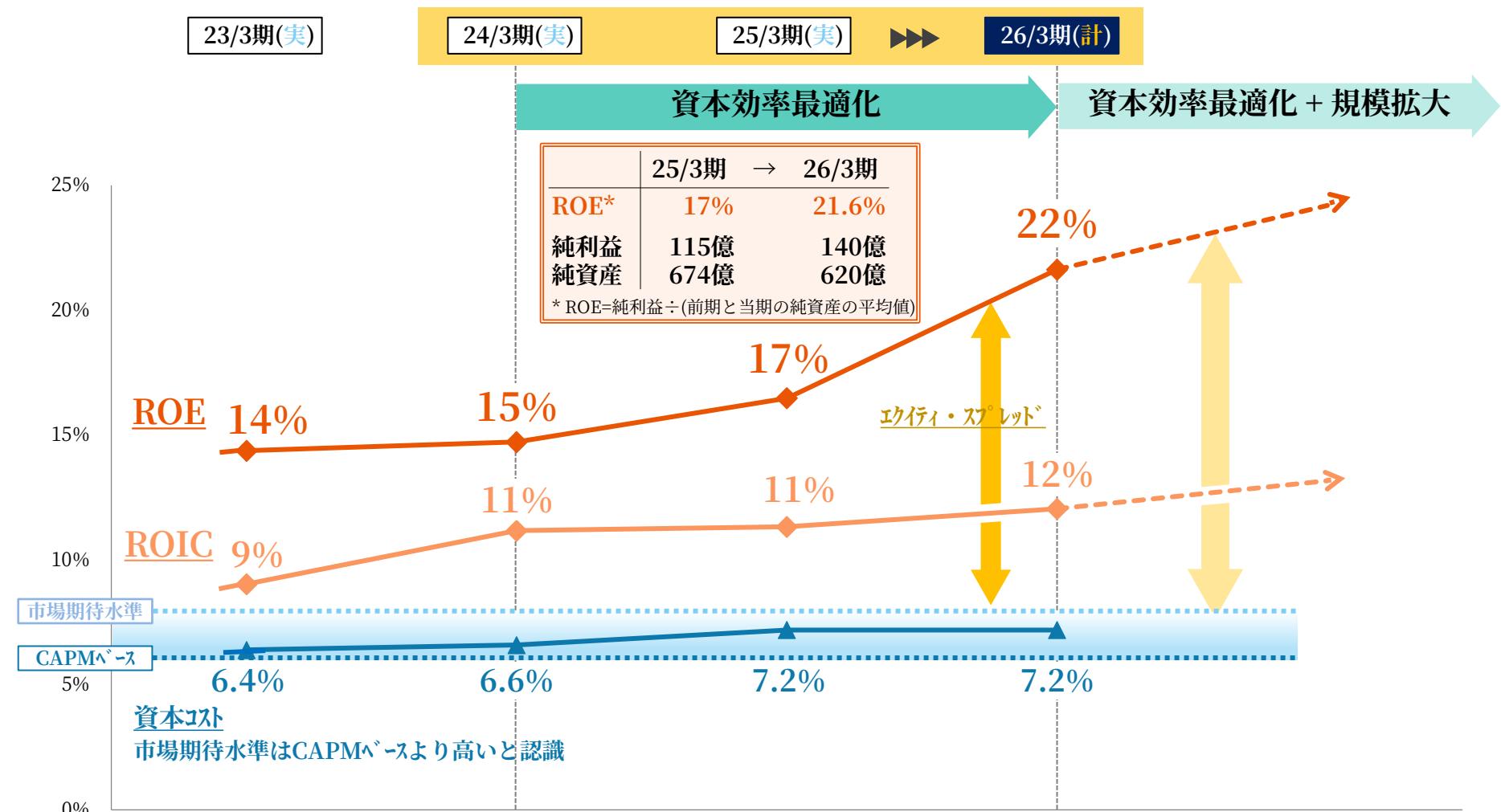
PFラットフォーム(億円)	25/3期 (3Q実)		26/3期 (3Q実) (通期計)		ホイント																																							
	粗利益	10.5	粗利益	11.8		16																																						
1). LPG託送(スマート、充填・配送、新保安PF)	3.4	5.0	6		<ul style="list-style-type: none"> ■ スマート、充填・配送 ・競合他社での利用が徐々に拡大 																																							
2). 新都市PF、PFアソシエイション、工事PF等	7.1	6.8	10		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新保安PF ・計画通り。都市ガス向け保安の対応エリア拡大、LP他社の保安受託を徐々に拡大 																																							
エネルギーソリューション(億円)	25/3期 (3Q実)	26/3期 (3Q実) (通期計)			<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事PF ・26/1月に空調・給排水工事に強みを持つ北斗管工社がグループ入り。外部向け工事を強化する 																																							
粗利益	2.2	3.5	6																																									
ハイブリッド給湯器(台)	4千	5.5千	8千		<ul style="list-style-type: none"> ■ ハイブリッド給湯器販売台数(千台) ・デジタルチャネルも活用しながら販売を強化する 																																							
					<p>機器販促イベントを 多数開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>粗利益(億円)</th> <th>ハイブリッド給湯器(台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24/3期 1Q</td> <td>2.2</td> <td>4千</td> </tr> <tr> <td>24/3期 2Q</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24/3期 3Q</td> <td></td> <td>2.1千台</td> </tr> <tr> <td>24/3期 4Q</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25/3期 1Q</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25/3期 2Q</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25/3期 3Q</td> <td></td> <td>5.3千台</td> </tr> <tr> <td>25/3期 4Q</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>26/3期 1Q</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26/3期 2Q</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>26/3期 3Q</td> <td></td> <td>8.0千台(計)</td> </tr> <tr> <td>26/3期 4Q</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期間	粗利益(億円)	ハイブリッド給湯器(台)	24/3期 1Q	2.2	4千	24/3期 2Q			24/3期 3Q		2.1千台	24/3期 4Q			25/3期 1Q	3.5		25/3期 2Q			25/3期 3Q		5.3千台	25/3期 4Q			26/3期 1Q	6		26/3期 2Q			26/3期 3Q		8.0千台(計)	26/3期 4Q		
期間	粗利益(億円)	ハイブリッド給湯器(台)																																										
24/3期 1Q	2.2	4千																																										
24/3期 2Q																																												
24/3期 3Q		2.1千台																																										
24/3期 4Q																																												
25/3期 1Q	3.5																																											
25/3期 2Q																																												
25/3期 3Q		5.3千台																																										
25/3期 4Q																																												
26/3期 1Q	6																																											
26/3期 2Q																																												
26/3期 3Q		8.0千台(計)																																										
26/3期 4Q																																												

資本戦略①

ROIC・ROEの計画 (24/3期-26/3期)

26/3期はROIC12%、ROE22%を計画

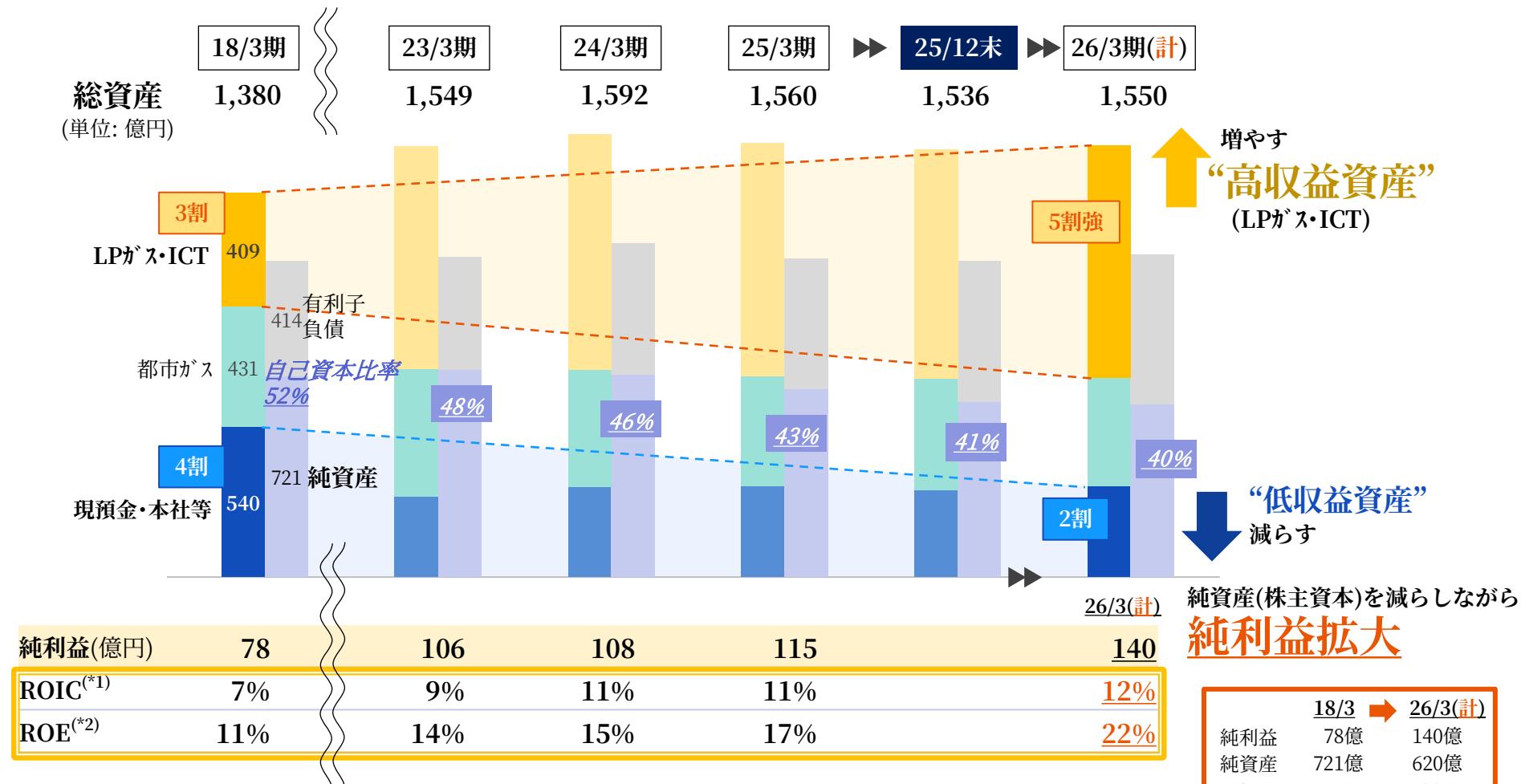
- 引き続き、最適資本構成のもとで着実に純利益を増大させるとともに、資本コストの低減を図り企業価値を向上させる。



資本戦略② B/S

低収益資産から高収益資産への入れ替えを進めて、資産規模を大きく変えずROICを向上

- B/Sコントロールにより資産収益性を高めている。不稼働資産を縮減しつつ、収益の柱となるLPガス・ICTへの投資を積み増してきた。



資本戦略③ 資本調達(自己資本比率)最適化

自己資本比率を40%に引き下げる。3年間で資産規模は変えず、資本構成を最適化

■3年間で自己資本比率を48%→40%に引き下げて最適化する。所要自己資本の減少に伴う不必要な株主資本は還元する。

23/3期(実)

24/3期(実)

25/3期(実)

26/3期(計)

※23/3期の数字は都市ガス収益認識基準適用前。
短信(収益認識基準ベース)の数値と異なる。

※括弧内の数字は23/3期比

(単位: 億円)

	23/3期(実)		24/3期(実)		25/3期(実)		26/3期(計)	
	総資産	その他 393	総資産	その他 391 (▲2)	総資産	その他 391 (▲2)	有利子負債	有利子負債 539 (+133)
1,534	406	1,560	417	469	1,550 (+16)	674	539 (+133)	620 (▲115)
自己資本比率	48%			43%			40%へ	
純資産	735							

資本最適化による還元

- 資産規模変えず、自己資本比率を48%→40%に引き下げる
- 所要自己資本は減少
 $735\text{億} - 620\text{億} = 115\text{億}$
- 不必要な株主資本は還元する
(総還元性向100%超)

115億(還元額)

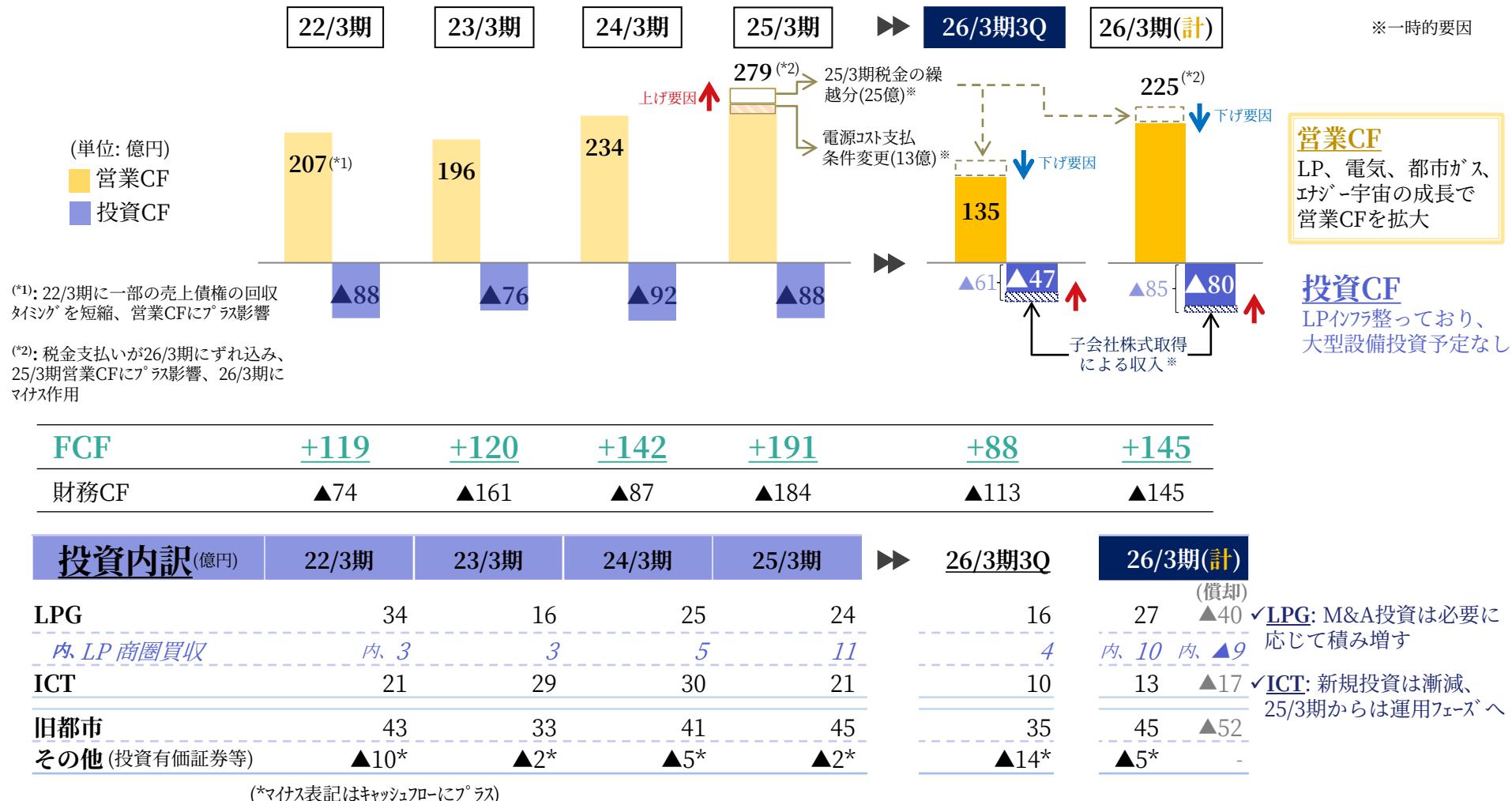
40%へ

自己資本比率最適化
48%→40%

資本戦略④ Cash Flow

26/3期の営業CFは前期のプラス影響が解消し減。投資CFは大規模インフラ投資の予定なし

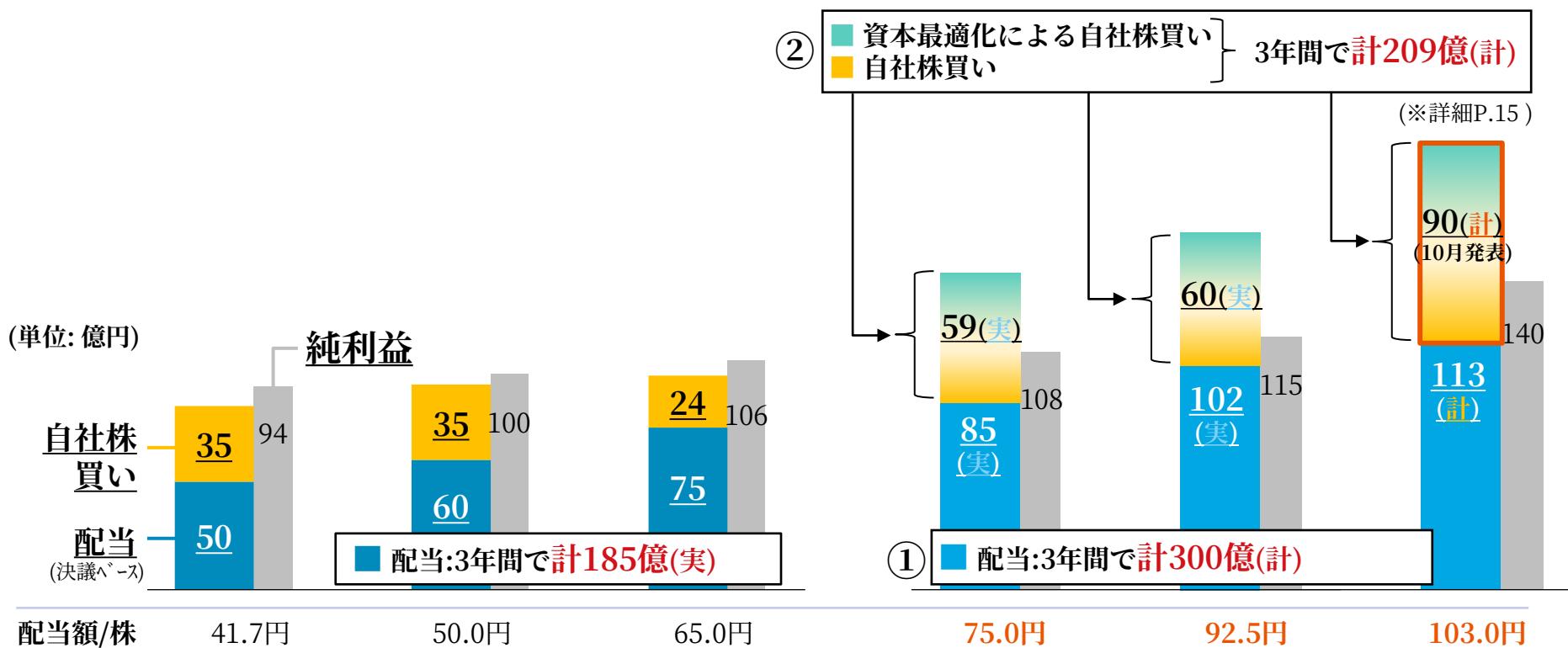
■ 1-3Q営業CFは前期比▲19億、前期の税金支払いが今期にずれ込み営業CFにマイナス作用。通期は投資CFを▲100億→▲80億に見直す。子会社株式取得によるキャッシュ収入を織り込む。



資本戦略⑤ 株主様への還元

26/3期総還元性向は145%を計画。25/10月に90億の自社株買入れ枠を設定

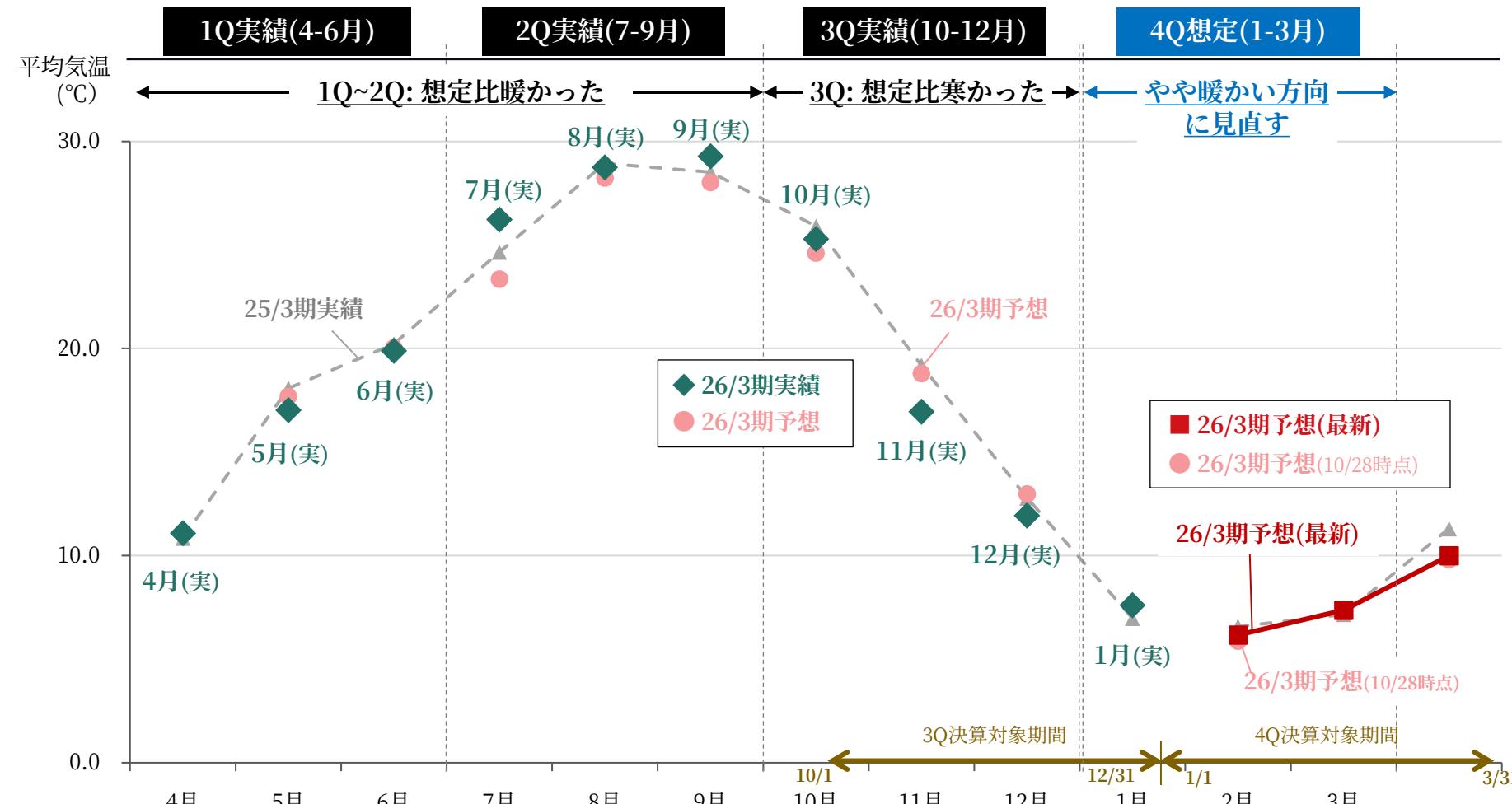
- 利益成長に伴い株主還元を強化、増配を継続。自社株買いは、資本構成の最適化に向け、今期90億を計画(25/12末時点の進捗率: 22%)。



平均気温

3Q(10-12月)は想定より寒い気温となった。4Q(1-3月)想定はやや暖かい方向に見直す

- 3Q気温は想定比で低い気温となり、家庭用ガス販売量に追い風となった。
- 4Q気温は2Q想定比やや暖かい方向に見直す。単位消費量は感応度の想定より慎重に見積る。



(*1):26/3期の気温予想は、専門情報機関の情報に基づき当社作成。 (*2):気温実績は東京都の平均気温(参照元:気象庁ホームページ)

26/3期の利益計画詳細

4Q: LPは家庭用の量と業務用の利幅を、都市ガスは「スライド」影響を慎重に見積る

	上期 (4-9月)			下期 (10-3月)			通期計画		
	25/3 (実)	26/3 (実)	コメント	25/3 (実)	26/3(計) 見直前	26/3(計) 見直後	コメント	26/3(計) 見直前	見直後
LPガス(家庭用)									
粗利益(億円)	172	173		243	241	241		414	414
販売量(千㌧)	65	65		113	114	115	・家庭用利幅は大きく変更せず。CP想定はUS\$525/㌧、為替は160円/US\$とする	179	180
利幅(円/kg)	266円	265円		214円	213円	211円		232円	230円
単位消費量(kg/件)	76kg	75kg	・高気温影響で伸びず	132kg	128kg	130kg	・3Q: 想定比寒い気温となり伸びた	203kg	205kg
LPガス(業務用)									
粗利益(億円)	17	13	・原料の動きがマイナスに作用して利幅縮小	23	21	20		34	33
販売量(千㌧)	52	49		57	56	56	・4Q: 原料の動きを踏まえ利幅縮小を見込む	105	105
都市ガス									
粗利益(億円)	73	73		101	102	99	・4Q: 新たにスライドマイナス影響▲2億を織り込む	175	172
販売量(千㌧)	147	142	・業務用が伸びず	197	197	196		339	338
電気(主に家庭用)									
粗利益(億円)	19	31		33	27	31		58	62
販売量(GWh)	717	811	・顧客増により伸長	870	912	908		1,723	1,719
利幅(円/kWh)	2.6円	3.8円	・燃料価格の動きがプラスに作用し利幅良化	3.9円	3.0円	3.4円	・3Q: 燃料価格の動きがプラスに作用し利幅良化	3.4円	3.6円